



2018年度看護学部FD委員会報告：学術活動

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学看護学部 公開日: 2019-04-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 看護学部FD委員会 メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000610

学 術 活 動

2018年度看護学部 FD 委員会報告

看護学部 FD 委員会

2018年度 FD 委員会の主たる活動は、「新任教員オリエンテーション」、「FD 研修会（3回）」であった。これらの概要、並びに、次年度に向けた準備、FD 委員会の開催状況等について報告する。

Ⅰ 新任教員オリエンテーション

本事業は、本学部新たに新任することになった教員を対象に、赴任直後に行なうオリエンテーションであり、以下のプログラム通りに実施された。

1 日目 4 月 2 日 (月)		会場：S510
時 間	内 容	
14：00－14：45（45分）	- 看護学部の理念・組織・委員会活動 - 福島県立医科大学看護学研究科に関する事項	
14：45－15：30（45分）	看護学部の教育課程	
15：30－16：10（40分）	- 活動状況 - 実習計画 - 臨地実習について - 実習申し合わせ事項について	
16：10－16：20（10分）	移動	
16：20－17：50（40分）	4 年次生実習オリエンテーション、教員紹介	
2 日目 4 月 3 日 (火)		会場：S510
時 間	内 容	
9：00－9：45（45分）	- 看護学学生部に関する内容 - 広報委員会活動に関する内容	
9：45－11：15（90分）	- 図書・情報に関する事項 - イントラネット（デスクネッツ）について - ユーザーサポートについて	
11：15－12：00（45分）	教務システムについて	
別途案内	服務規程・給与・福利厚生・講座研究費・施設使用・駐車場等	
各部門で設定	- 部門の教員紹介 - 部門で担当する授業科目について - 部門会議について - 部門で実施している学習会・抄読会など - 教育機器に関すること（教材作成方法も含む）	

Ⅱ 第 1 回 FD 研修会「GPA について」
(7 月 26 日, 16：30～17：00)

学生に積極的な学習を動機つけるための工夫として、看護学部においても、今後、GPA（Grade Point Average）の導入が検討される状況となってきた。

しかしながら、GPA の仕組みや導入の意義など、よくわからないとの声が多いことを受け、GPA の基礎知識を学ぶ研修会を開催した。

第 2 回教員会議の場を活用した 30 分あまりの短い研修の機会であったが、GPA を先駆的に採用している医学部の和栗聡教授を招き、資料に沿って、医学部における GPA 採用の経緯や現状、当面の課題などを紹介していた。

だき、質疑応答によって、GPA に対する理解を深めた。
なお、34名の教員が参加した。

Ⅲ 第2回FD研修会「改定モデルコアカリキュラムと医学部カリキュラム編成について」(10月3日, 16:30~18:00)

看護学部のカリキュラム改正が進む中、いよいよ2019年度から授業時間が90分から60分へ移行することになった。しかし、60分授業を経験したことのない教員が多く、どんなことが起きてくるのか、どのような準備や工夫が必要となるのか等、不安や戸惑いの声が聞こえて来るようになった。そこで、考えるヒントを求め、先行して60分授業に移行した医学部の経験や工夫に学び、考える研修会を開催した。

60分授業への移行に当たり、中心的な役割を担われた橋本優子教授を医学部より招き、約1時間の講演の後、質疑応答を行って、学びを深めた。橋本教授は、移行に際して医学部ではどのような議論があったのか、それを踏まえて工夫したことなどを紹介の後、医学部では、2017年3月にモデルコアカリキュラムが改定されたが、それによって学ぶべき項目が明確化され、実習の割合が増えたこと、国家試験の内容もすべてモデルコアカリキュラムに則ったものになりつつあることから、カリキュラムはそれを網羅するように毎年改定する作業を続けることが必要になっていることを指摘して、それをめぐる現状の問題点や当面の課題を説明された。さらに、この結果、医学部では、講義主体ではなく、学生による能動的な学習を重視する方向に変わってきており、座学を圧縮し、少人数のアクティブラーニングにつながる教育方法の模索が続けられていることを明らかにした。

なお、参加した教員の内訳は以下の通りである。

職 位	参加人数 (配置人数)	参加率
教 授	4 (13)	30.7%
准教授	4 (7)	57.1%
講 師	9 (15)	60%
助 教	4 (7)	57.1%
助 手	8 (8)	100%
総 数	29 (52)	55.8%

Ⅳ 第3回FD研修会 (2019年3月7日, 予定)

2018年11月現在の計画としては、第2回FD研修会の成果を踏まえ、少人数ではあるが60分授業を経験している看護学部の教員がいることから、この内2名に登壇を求め、60分授業を行うに当たり、工夫していることや成果とみられること等をめぐる1時間程度のパネルディスカッションを行う予定である。

Ⅴ 2019年度新任教員オリエンテーションの企画と準備

2019年度も新たに着任する教員がいることから、赴任に際してのオリエンテーションを実施する。2018年度の反省を踏まえ、また、60分授業の導入に端的なように、学内の新たな動向も踏まえ、新年早々からプログラムの企画と通知などの準備に着手する予定である。

Ⅵ FD委員会の開催状況等

2018年4月以降、11月までに5回開催され、前年度の委員会からの引き継ぎ、FD研修会の企画、準備、反省等に当たってきた。年度内にあと2回程度開催されるとみられる。なお、毎回の協議の内容は議事録にまとめられ、保存している。また、限定的ではあるが、学外のFD関連の催しを、電子メールを通じて看護学部内に紹介する取り組みも行っている。